



## スタート!! 平成23年度 南丹美術工芸パートナーズスクール事業

この事業は、小学校が京都府立亀岡高等学校や京都伝統工芸大学校と一定期間継続的にパートナー関係を結び、相互の連携を深め、高校生や学生等が小学校に出向いて美術や伝統工芸を教えることで、美術工芸教育の推進を図ろうとする南丹地域ならではの取組です。

今年度は、南丹市立西本梅小学校、南丹市立宮島小学校、京丹波町立和知小学校が京都伝統工芸大学校と、亀岡市立吉川小学校が京都府立亀岡高等学校Ⅲ類芸術系とパートナー関係を結び実施します。

完成した作品は、平成23年10月29日（土）から11月6日（日）まで南丹市国際交流会館で開催する「第5回南丹美術工芸教育展」で展示されます。



### 西本梅小学校 陶板に挑戦!

6月7日（火）には、4・5年生11名が、京都伝統工芸大学校から2名の先生をお迎えし、「陶板」に挑戦しました。

最初に、粘土を手のひらで優しく叩き、少しずつ伸ばし、さらに、のし棒で均等に伸ばした後、あらかじめ紙に描いた自分の顔と「夢」や「魂」などの好きな漢字一字をヘラで粘土に書き写していきました。

力加減に注意しながら、今からどんな作品に仕上がるかを楽しみにして、作品作りに取り組んでいます。

### 宮島小学校 木彫刻に挑戦!

6月20日（月）に、4・5・6年生22名が、京都伝統工芸大学校 鈴木教授から、怪我を防ぐ彫刻刀の握り方を教わり、児童それぞれが思い思いに描いた『なべ敷き』の下絵をカーボン紙を使って、美山産の木材（桂）に写し込み、大学校の学生からの手ほどきを受けながら、早速、彫刻刀をすべらせていました。

宮島小学校では、地元産材を使ったこの取組を通して、木材のぬくもり、肌ざわりを児童に感じさせることによって、「ふるさと美山を愛する心」の育成も図ります。



### 優良職員表彰を受賞!

#### 南丹美術工芸教育活動振興プロジェクトチーム

平成23年6月17日（金）の京都府開庁記念日記念式典において南丹美術工芸教育活動振興プロジェクトチームが優良職員表彰を受けました。

これまで、「南丹美術工芸教育展」や「南丹美術工芸パートナーズスクール」を実施し、児童生徒の美術工芸への興味・関心の高揚、教員等のスキルアップにつなげるなど、教育活動の推進に大きく貢献したと認められたものです。

